



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月12日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL http://www.sanki-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 義兼
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北越 達男 TEL 079-289-4411
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績（平成28年6月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	6,385	41.8	345	88.8	343	103.2	238	107.9
28年5月期第3四半期	4,503	5.2	183	△14.0	168	△24.0	114	△22.1

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 238百万円 (122.7%) 28年5月期第3四半期 106百万円 (△24.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	42.60	42.48
28年5月期第3四半期	20.96	20.54

(注) 当社は、平成27年12月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成28年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	3,205	1,577	49.2	282.08
28年5月期	3,096	1,422	45.9	254.49

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 1,576百万円 28年5月期 1,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年5月期の連結業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	17.9	472	19.8	447	25.0	298	18.3	53.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	5,589,285株	28年5月期	5,589,285株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	43株	28年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	5,589,254株	28年5月期3Q	5,464,741株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策等による企業収益の改善と、それに伴う雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、海外では、英国のEU離脱問題に伴う欧州経済不安や米国の政権交代等を受けて為替相場や株式市場が大きく変動するなど、先行き不透明な状況となっております。また、当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、小売業界や多店舗・多棟展開する企業を中心に設備メンテナンスの一括アウトソーシングへの関心が高まっています。

このような環境下において、当社グループは「メンテナンスを核とした環境改善」を事業コンセプトとし、サービス範囲の拡大と品質向上を目指して、設備のトータルメンテナンスだけではなく、清掃・警備を含めたファシリティマネジメントの領域に業務を拡大するとともに、メンテナンスエンジニアに対する実機研修等の人材育成に注力してきました。また、平成28年12月に福岡営業所を開設し、九州エリアでのマーケット開拓及びパートナー網の強化を進めています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,385,928千円(前年同期比41.8%増)となりました。これは主として、設備全般のメンテナンス管理を行うトータルメンテナンス契約が順調に推移したことや、省エネインバータ工事やR22冷媒空調機の更新工事が増加したこと等によるものであります。構成比は、空調機器メンテナンス事業が31.4%、トータルメンテナンス事業が68.6%となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上原価は、当社メンテナンスエンジニアに係る人件費や、パートナーへの業務委託に係る外注費及び原材料の仕入れ等により5,082,440千円(前年同期比45.9%増)となりました。また、販売費及び一般管理費は、コールセンター業務拡大による人員増及び営業力強化のための人員配置の入替や、新入社員研修を積極的に行ったこと等により957,988千円(前年同期比14.4%増)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は345,498千円(前年同期比88.8%増)、経常利益は343,027千円(前年同期比103.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は238,101千円(前年同期比107.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①空調機器メンテナンス事業

空調機器メンテナンス事業においては、メーカーサービス指定店としてパナソニックグループ会社が製造・販売を行う大型空調機器(主に吸収式冷温水器)を中心としたメンテナンスを行う一方、パナソニック産機システムズ株式会社から年間保守契約に基づき受託する定期点検、修理対応を主軸とし各種トラブルを未然に防止する保全メンテナンスを行っております。前連結会計年度より引き続き、メンテナンスを行うサービスエンジニアを専属営業とし、空調機器本体だけでなく、大型空調機に付随する設備メンテナンスや既存空調機器更新工事、ポンプのインバータ化による省エネ提案等の受注に注力いたしました。

この結果、空調機器更新工事やインバータ化工事が順調に拡大し、空調機器メンテナンス事業の売上高は2,004,659千円(前年同期比10.4%増)となり、セグメント利益(営業利益)は160,836千円(前年同期比42.2%増)となりました。

②トータルメンテナンス事業

トータルメンテナンス事業においては、当社の強みである24時間365日稼働のコールセンターを核としたサービスを、多店舗・多棟展開企業である飲食業、小売業、イベント施設、医療・介護・福祉施設等の幅広い業界をターゲットに展開しております。上場による知名度向上や全国エリア対応・メンテナンス範囲の拡大を強みとして、引き続き管理コストの見直しを検討している企業の需要を掘り起こすことに注力し、全国展開している企業向けの積極的な営業を行っております。また、収益面では平成28年4月より取引開始した大型食品スーパーや平成28年10月より取引開始した大手コンビニエンスストアが堅調に推移する一方、費用面ではサービス品質の向上やさらなる拡大に向け人員採用を継続して行っております。

この結果、トータルメンテナンス事業の売上高は4,381,268千円(前年同期比63.0%増)となり、セグメント利益(営業利益)は184,662千円(前年同期比164.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ105,273千円増加し2,589,835千円となりました。主な要因は、現金及び預金が23,913千円、受取手形及び売掛金が38,444千円、未成工事支出金が18,903千円増加したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,883千円増加し616,076千円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ109,157千円増加し3,205,911千円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ13,531千円減少し1,147,910千円となりました。主な要因は、賞与引当金が26,575千円減少したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ32,488千円減少し480,427千円となりました。主な要因は、長期借入金が44,994千円減少したこと等によります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ46,020千円減少し1,628,337千円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ155,177千円増加し1,577,573千円となりました。主な要因は、利益剰余金が154,261千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	829,165	853,079
受取手形及び売掛金	1,541,884	1,580,329
未成工事支出金	26,533	45,437
原材料及び貯蔵品	5,237	8,309
繰延税金資産	40,134	40,125
その他	41,605	62,554
流動資産合計	2,484,561	2,589,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	269,543	262,695
土地	93,797	93,797
建設仮勘定	2,288	3,504
その他(純額)	42,096	34,133
有形固定資産合計	407,726	394,131
無形固定資産		
投資その他の資産	9,632	15,749
投資有価証券	15,405	18,000
長期前払費用	85,179	88,331
退職給付に係る資産	29,277	30,675
繰延税金資産	25,252	24,562
その他	44,640	49,546
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	194,833	206,194
固定資産合計	612,192	616,076
資産合計	3,096,754	3,205,911
負債の部		
流動負債		
工事未払金	687,633	714,752
1年内返済予定の長期借入金	93,607	62,762
未払法人税等	102,389	65,940
賞与引当金	77,648	51,073
その他	200,163	253,381
流動負債合計	1,161,441	1,147,910
固定負債		
長期借入金	220,012	175,018
役員退職慰労引当金	156,990	162,810
退職給付に係る負債	108,609	112,863
資産除去債務	11,226	12,021
その他	16,077	17,714
固定負債合計	512,916	480,427
負債合計	1,674,357	1,628,337

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,927	383,927
資本剰余金	269,427	269,427
利益剰余金	761,503	915,765
自己株式	—	△26
株主資本合計	1,414,858	1,569,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,157	5,723
為替換算調整勘定	3,379	1,775
その他の包括利益累計額合計	7,537	7,498
新株予約権	—	981
純資産合計	1,422,396	1,577,573
負債純資産合計	3,096,754	3,205,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	4,503,814	6,385,928
売上原価	3,483,268	5,082,440
売上総利益	1,020,545	1,303,487
販売費及び一般管理費	837,522	957,988
営業利益	183,023	345,498
営業外収益		
受取利息	780	354
受取配当金	637	361
受取家賃	1,000	1,260
受取手数料	864	938
為替差益	—	771
その他	822	1,625
営業外収益合計	4,105	5,310
営業外費用		
支払利息	2,340	1,514
為替差損	6,056	—
支払手数料	7,272	1,000
租税公課	1,760	1,975
新株予約権発行費	—	2,637
その他	860	655
営業外費用合計	18,291	7,782
経常利益	168,837	343,027
特別損失		
固定資産除却損	31	—
特別損失合計	31	—
税金等調整前四半期純利益	168,806	343,027
法人税等	54,287	104,926
四半期純利益	114,518	238,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,518	238,101

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	114,518	238,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,166	1,565
為替換算調整勘定	△1,460	△1,604
その他の包括利益合計	△7,626	△38
四半期包括利益	106,892	238,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,892	238,062
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	空調機器メ ンテナンス 事業	トータルメ ンテナンス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,815,543	2,687,709	4,503,252	561	4,503,814	—	4,503,814
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,815,543	2,687,709	4,503,252	561	4,503,814	—	4,503,814
セグメント利益	113,125	69,878	183,004	19	183,023	—	183,023

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社が行っているシステム開発事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
	空調機器メ ンテナンス 事業	トータルメ ンテナンス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,004,659	4,381,268	6,385,928	—	6,385,928	—	6,385,928
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,004,659	4,381,268	6,385,928	—	6,385,928	—	6,385,928
セグメント利益	160,836	184,662	345,498	—	345,498	—	345,498

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。